

12月1日 公述人4（会場①国土交通省関東地方整備局下館河川事務所）

意見の概要

- ・30年以上前に入団した頃の頃に昭和61年小貝川の豊田地先で水防活動中に目前で堤防が決壊するさまを経験した。
- ・平成27年9月の関東東北豪雨の時にも鬼怒川が溢水や決壊し水害にあったが、地元消防団として水防活動を行っていた。
- ・先日の台風19号では鬼怒川緊急プロジェクトで堤防整備が進んでおり被害が無かったが、小貝川は堤防幅も狭く、高水敷に樹木も繁茂しており、洪水の度にいつ溢れるのか心配であった。
- ・鬼怒川と小貝川に挟まれた下流の市町の住民としては、鬼怒川同様に一日も早い堤防整備と母子島遊水地など上流での洪水対策の必要性について意見を述べたい。